

(資料編)

Ⅱ 新聞切り抜き

鳥取で震度6強

M7.1 大阪も震度4



土砂崩れ 生き埋めも

6日午後1時半ごろ、中国地方を中心に中部から九州にまたがる広い範囲で強い地震があった。鳥取県境港市など同県西部で震度6強を観測したほ

か、岡山県北部と香川県東部で震度5強を観測。中国地方から四国、兵庫県
の広範囲で震度4以上の地震を観測し
た。大阪管区气象台によると、震源は

停電、JR運転見合わせ

鳥取県西部で、深さ約10^{キロ}。地震の規模を示すマグニチュードは7.1。津波の恐れはないという。

鳥取県日野町役場によると、同町内の工事現場で土砂崩れがあり、1人が生き埋めになったが、まもなく救出された。しかし生死は不明という。

JR西日本によると、地震による停電で、東海道、山陽の両新幹線は一時、全線運転を停止。京阪神や鳥取、岡山、広島各県内の在来線も一時全面ストップしたが、午後1時50分ごろから一部で徐行運転を始め、同58分に京阪神地区で全線運転を再開した。

同社は同30分、工藤一能・鉄道本部長を本部長とする緊急対策本部を設置し、情報収集を急いでいる。

各地の震度は次の通り。

【震度6強】鳥取県西部

【震度5強】岡山県北部、香川県東部

部

【震度5弱】島根県東部、岡山県南部、広島県西部、徳島県北部、香川県西部、兵庫県淡路島

【震度4】滋賀県北部・南部、京都府北部、大阪府北部、兵庫県北部・南部、徳島県西部、鳥取県東部、島根県隠岐、広島県北部・南東部、徳島県南部、愛媛県東予・中予、高知県東部・中部、山口県北部・東部、大分県北部

【震度3】京都府南部、大阪府南部、奈良県、和歌山県北部・南部、島根県西部、愛媛県南予、山口県西部、大分県中部・南部

鳥取県西部で、深さ約10^{キロ}。地震の規模を示すマグニチュードは7.1。津波の恐れはないという。

(10月6日 毎日新聞抜粋)

鳥取西部で震度6強

M7.3 西日本各地で被害

負傷者50人超える

西伯町全町民に避難要請



鳥取西部地震の影響で、倒壊した出雲大社上道教会＝6日午後4時31分、鳥取県境港市上道町

六日午後一時ごろ、鳥取県西部を震源とする強い地震があり、同県の境港市と日野町で震度6強、西伯町・溝口町で震度6弱、米子市と岡山県新見市などで震度5強を観測。西日本の広い範囲で強い揺れを感じた。気象庁によると、震源地は米子市の南約二十キロ、震源の深さは約一〇キロ。地震の規模はマグニチュード(M)7.3と推定される。重傷者を含め、四国・近畿地方で人がけがは五十人を超えた。死者の報告はない。鳥取県内で震度九十九棟が全壊(午後六時発表)するなど、各地で建物や道路に被害が出ている。西伯町では全町民に避難を呼びかけるなど、気象庁や気象庁に対して警戒を呼び掛けている。



気象庁は、今回の地震を、向に活断層が傾斜を段階分けされて以来、震度6強を観測したのは初めてで、「阪神・淡路大震災以来の強い揺れ」としている。午後四時三十分ごろに鳥取県西部を震源とする地震を観測した。震度6強を観測したのは初めてで、「阪神・淡路大震災以来の強い揺れ」としている。午後四時三十分ごろに鳥取県西部を震源とする地震を観測した。震度6強を観測したのは初めてで、「阪神・淡路大震災以来の強い揺れ」としている。

鳥取県西部を震源とする強い地震があり、同県の境港市と日野町で震度6強、西伯町・溝口町で震度6弱、米子市と岡山県新見市などで震度5強を観測。西日本の広い範囲で強い揺れを感じた。気象庁によると、震源地は米子市の南約二十キロ、震源の深さは約一〇キロ。地震の規模はマグニチュード(M)7.3と推定される。重傷者を含め、四国・近畿地方で人がけがは五十人を超えた。死者の報告はない。鳥取県内で震度九十九棟が全壊(午後六時発表)するなど、各地で建物や道路に被害が出ている。西伯町では全町民に避難を呼びかけるなど、気象庁や気象庁に対して警戒を呼び掛けている。

「未知の活断層」M6余震発生警戒

大きな地震が発生しており、潜在的な活断層の存在が指摘されている。

鳥取県西部を震源とする強い地震があり、同県の境港市と日野町で震度6強、西伯町・溝口町で震度6弱、米子市と岡山県新見市などで震度5強を観測。西日本の広い範囲で強い揺れを感じた。気象庁によると、震源地は米子市の南約二十キロ、震源の深さは約一〇キロ。地震の規模はマグニチュード(M)7.3と推定される。重傷者を含め、四国・近畿地方で人がけがは五十人を超えた。死者の報告はない。鳥取県内で震度九十九棟が全壊(午後六時発表)するなど、各地で建物や道路に被害が出ている。西伯町では全町民に避難を呼びかけるなど、気象庁や気象庁に対して警戒を呼び掛けている。

(10月7日 産経新聞抜粋)

鳥取県西部を震源とする強い地震があり、同県の境港市と日野町で震度6強、西伯町・溝口町で震度6弱、米子市と岡山県新見市などで震度5強を観測。西日本の広い範囲で強い揺れを感じた。気象庁によると、震源地は米子市の南約二十キロ、震源の深さは約一〇キロ。地震の規模はマグニチュード(M)7.3と推定される。重傷者を含め、四国・近畿地方で人がけがは五十人を超えた。死者の報告はない。鳥取県内で震度九十九棟が全壊(午後六時発表)するなど、各地で建物や道路に被害が出ている。西伯町では全町民に避難を呼びかけるなど、気象庁や気象庁に対して警戒を呼び掛けている。

M7.3のつめ跡

大屋根無残

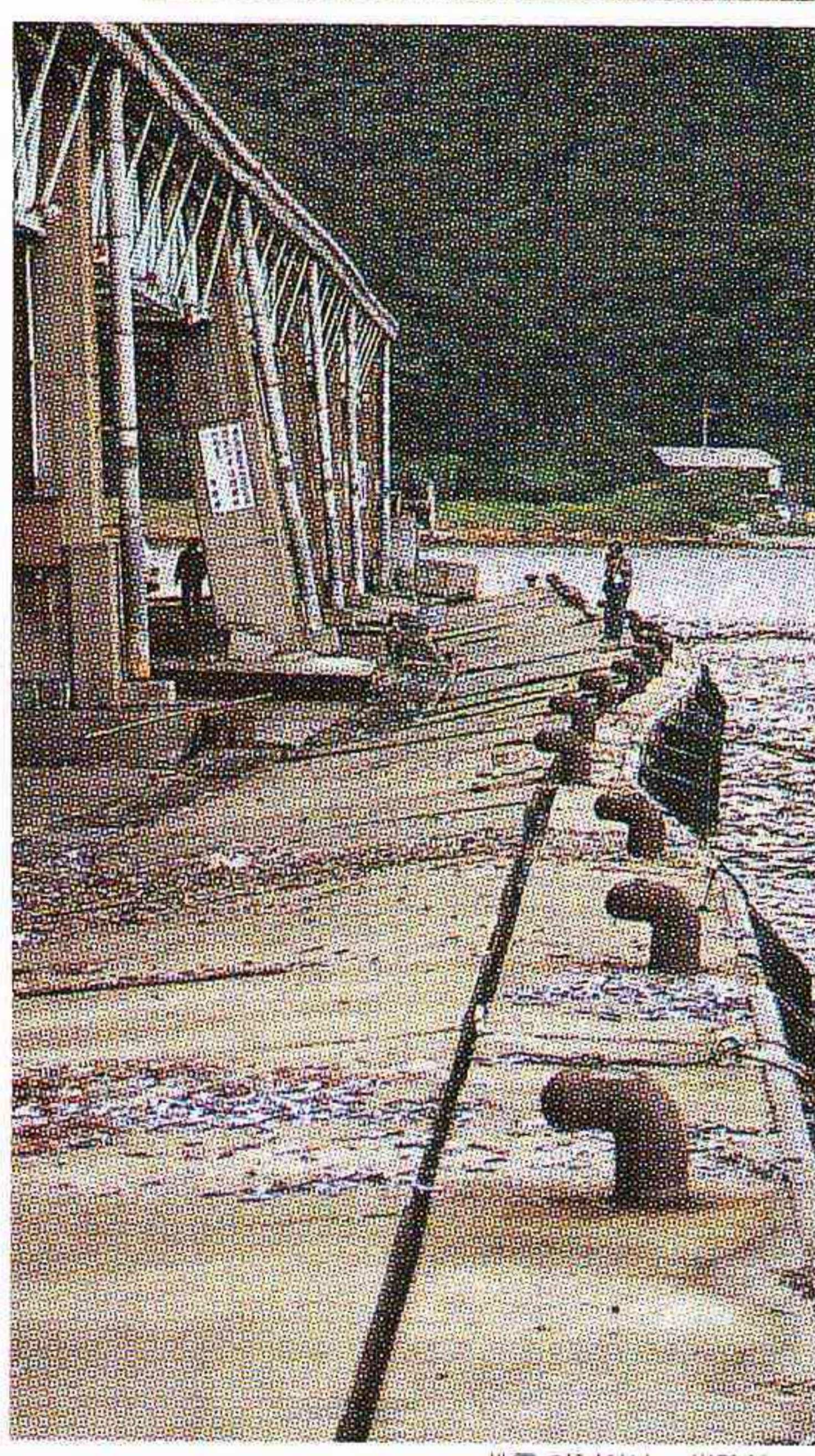


全壊した出雲大社上通教会（午後2時50分、堀内正純撮影）



農地 地割れ

地割れた鳥取県境港市内の農地（6日午後3時25分、境港市で、本社へりから）—小出夏来撮影



波打つ岸壁

地震で柱がおれ、岸壁が崩れた境港漁港（午後5時30分、境港市昭和町で）—中原正純撮影



JR寸断

線路沿いのがけが崩壊、不通となったJR伯備線（午後4時50分、鳥取県白野町のJR黒坂一畑駅前前で、本社機から）—田中節義撮影



液状化

液状化した道路（午後5時30分、境港市・竹内工業団地で、本社へりから）—小出夏来撮影

(10月7日 読売新聞抜粋)